

志を抱いて社会に羽ばたく



1月7日(日)、「第70回砂川市成人式」が地域交流センターゆうで開催され、振り袖やスーツに身を包んだ新成人116人が出席し大人としての第一歩を踏み出しました。式典では、新成人代表として最上光輝さんが決意を述べ、市の応援大使である北海道日本ハムファイターズの近藤健介選手と石井裕也選手からのお祝いのメッセージ映像が流れるなど、決意と祝福に満ちた式典となりました。また、式典終了後には新成人の有志で組織された世話人会による交流企画が行われるなど、懐かしい友達との再会にたくさんの笑顔が見られました。

世話人会では、成人式の準備にあたり「雄飛～あの頃憧れた自分へ～」というテーマを掲げました。新成人の皆さんがそれぞれ大きな志を抱き、目標に向かって努力して羽ばたいていくことを願っています。



① 交流企画の準備・運営に尽力した世話人会の皆さん
② 大勢の前で市民憲章朗唱を行った武田 柊太郎さん
③ 式典の司会は奥山 陽菜さん(左)と佐伯 実久さんの2人が務めました
④ 世話人会が企画した市内菓子店のお菓子が当たる抽選会
⑤⑥⑦ 喜びの表情を見せてくれた新成人の皆さん

新成人代表のことば



新成人代表
最上 光輝 さん

今日は、私たち新成人の門出にあたり、盛大な成人式を開催していただき誠にありがとうございます。また、ご多忙中にもかかわらず、多くのご来賓のご臨席を賜りました事に、厚く感謝申し上げます。

今年の成人式のテーマは、「雄飛～あの頃憧れた自分へ～」です。「雄飛」とは、「雄鳥が大空に飛ぶ上がるように大きな志を抱いて盛んに活動すること」という意味です。かつて憧れた大人に自分たちも変わっていきこうという意味を込めて、このようなテーマにいたしました。

本日、私たちが晴れて成人の日を迎えることができたのは、地域の方々、お世話になった先生方、そして今まで愛情を持って育ててくれた家族の支えがあったからです。私たちの成長を支え、温かく見守ってくださいましたすべての方に感謝の気持ちを伝え、新たな一歩を踏み出す一日にします。

子どもの頃は、二十歳になれば大人として社会の中で活動しているかと思っていました。今、私が二十歳になって感じることは、思い描いていた存在とはあまりにもか

け離れていて、まだまだ未熟であるという事です。家族や周りの方々の支えなしでは、生きてゆくことができないでしょう。しかし、今日という日を境にして、私たちは少しずつ支えられる側から支える側にならなければなりません。これからは、大人になるという自覚を持ち、今までの恩返しの意味も込めて、支えてくださった方々の期待に応えるべく、大きな志を抱き社会に貢献していきます。

現在の日本では、私たちの世代が被害者や加害者となって、ニュースで報道されているのを目にする回数は少なくありません。私はそのニュースを見るたびに、とても胸が痛みます。不測の事態で加害者になってしまうこともあるでしょうし、罪のない私たちが被害者になってしまうこともあるでしょう。被害者にも加害者にもならないように、私たちは常に細心の注意を払う必要があります。

私たちには知識も経験も十分ではありません。だからこそ、私たちは努力を惜しまず、常に学ぶ姿勢を持つ必要があります。自分の考えや言動が、社会に影響を与えるというのを自覚するとともに、計画・実践・反省・改善することを繰り返して、日々成長していかなければなりません。社会の一員となった今、自由と責任の重みをもう一度深く考え、明るい未来を作りあげていくことをここに誓います。成人代表の言葉といたします。